

防衛_{vol.62} 北海道

目次

- 平成30年度 日米共同方面隊指揮所演習 2～3
- 平成30年度 北海道防衛施設地方審議会 4
- 防衛施設と周辺地域との調和を図るために 5
- 絆（きずな）～標津町と標津分屯地の紹介～ 6～7
- 平成30年度に採用された職員の声 8～9
- 新たな「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」 10
- 第40回 防衛問題セミナーのご案内 11
- 防衛省職員採用のご案内 11
- 国家公務員 障害者選考試験 12



雪を巻き上げ射撃する90式戦車
(写真提供：第7師団司令部総務課広報・渉外班)

編集・発行

防衛省北海道防衛局広報誌等編集委員会
札幌市中央区大通西12丁目札幌第3合同庁舎
Tel.011-272-7579
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



平成31年2月発行



平成30年度 日米共同方面隊指揮所演習（日本）

YS-75に北海道防衛局も参加



◆日米共同方面隊指揮所演習（日本：YS-75）の概要

日米共同方面隊指揮所演習（※YS）は、日本への武力攻撃事態等を想定したシナリオに基づき、陸上自衛隊と米陸軍等が、共同対処行動を実施する場合の指揮幕僚活動をコンピュータ・シミュレーションにより演練するもので、本演習は、日米共同訓練として最大規模の指揮所演習であり、日米の相互理解と意思疎通を深め、相互運用性を向上させるために最も重要な訓練と位置づけられています。

YSは、昭和57年から36年間にわたり継続されており、毎年2回実施し、奇数回は日本で、偶数回は米国で実施され、今回で75回目となり、北部方面隊での実施は5年ぶり15回目となります。

今回の訓練は、昨年12月3日～17日までの間、東千歳駐屯地、仙台駐屯地等において行われ、日本側が山崎幸二陸上幕僚長を統裁官に陸上幕僚監部、陸上総隊、北部方面隊、東北方面隊、教育訓練研究本部、海上自衛隊、航空自衛隊等から約5,000名、米側がロバート B. ブラウン太平洋陸軍司令官を統裁官に第1軍団、第3海兵機動展開旅団、在日米陸軍司令部等から約1,600名が参加しました。

訓練は、3日～10日までは機能別準備期間として日米で連携要領の確認などを行い、11日から24時間態勢で総合訓練が行われました。

（写真提供：北部方面総監部総務部広報室）

※YSの由来

YSは、在日米陸軍のシンボル「富士山：YAMA」と陸上自衛隊のシンボル「桜：SAKURA」の頭文字に由来します。

在日米陸軍のシンボル
「富士山：YAMA」



陸上自衛隊のシンボル
「桜：SAKURA」



◆北海道防衛局の参加概要

北海道防衛局は、YS-75において、武力攻撃事態等で想定される米軍の行動に伴う土地等の提供等に係る所要の手続きを実施するため、企画統制・情報、民事、土地など5グループ等で構成する対策本部を東千歳駐屯地に設置し、当局の職員も24時間態勢で米軍等行動関連措置法等の関係法令に従い、武力攻撃事態等における対処要領を演練しました。

当局は、今後ともYS等の訓練を通じ、自衛隊及び米軍との連携に取り組んでまいります。



日米間における調整



米軍との調整には当局LO（Liaison Officer：連絡員）が活躍



米軍担当者と局担当者との活発な意見交換を実施



対策本部での業務（本部長への決裁）



対策本部会議の実施状況

平成30年度 北海道防衛施設地方審議会

平成30年11月20日(火)

北海道防衛局において、平成30年度北海道防衛施設地方審議会が開催されました。

同審議会は、北海道防衛局長からの諮問に依りて、自衛隊の施設等に係る不動産等に係る権利の対価の額に関する事項及び自衛隊等の使用により不動産等について生じた損失の補償額等に関して調査審議し、必要と認める事項を同局長に建議する機関として、7名の有識者による委員で構成され、北海道防衛局に置かれています。

同日の審議会では、2年間の任期満了に伴う委員互選による会長及び会長代理の指名が行われ、会長には石崎委員、会長代理には阿部委員が引き続き務められることとなりました。

続いて、当局の多様な業務について、担当課長から委員に対し説明を行い、その後、余市町に所在する海上自衛隊余市防備隊の現地視察及び艦艇への乗船が行われ、委員の方々に防衛行政に対する御理解を深めていただきました。



石崎会長の挨拶

北海道防衛施設地方審議会の様子



海上自衛隊余市防備隊現地視察



北海道防衛施設地方審議会委員

氏名	職名
会長 石崎 岳	社会福祉法人 北海道リハビリー 理事長
会長代理 阿部 和加子	書道わか葉会 主宰
山内 陸夫	山貴服飾株式会社 代表取締役社長
祖母井里重子	祖母井・中辻法律事務所 弁護士
大越 良記	東日本高速道路株式会社 北海道支社長
遠藤 公正	一般財団法人日本不動産研究所 北海道支社長
尾崎 大造	みずほ信託銀行株式会社 札幌支店長

会長・任期順・敬称略

防衛施設と周辺地域との調和を図るために ～特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の紹介～

防衛省は、ジェット機が離着陸する飛行場や砲撃が実施される演習場など、その設置又は運用がその周辺地域の生活環境や開発に大きな影響を及ぼすと認められる防衛施設（※特定防衛施設）の周辺に所在する市町村に対して、公共用の施設の整備又はその他の生活環境の改善や開発の円滑な実施に寄与する事業に充てるため「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第9条第2項に基づき、特定防衛施設周辺整備調整交付金を交付しています。
【※交付の対象となる特定防衛施設及び市町】

千歳飛行場（千歳市、苫小牧市）、上富良野演習場（上富良野町、中富良野町、富良野市）、北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）（北広島市、恵庭市）、然別演習場（鹿追町）、矢臼別演習場（別海町、厚岸町、浜中町）、北海道補給処白老弾薬支処（白老町）

教育文化施設の整備

学校施設、グラウンド、公民館、図書館、給食センター等



小学校に電子黒板を設置
（恵庭市）

（学校職員の声）

動画や画像を用いることで、児童生徒からの興味・関心が得やすくなり、積極的な意見交換が生まれるようになりました。

消防に関する施設の整備

消防自動車、救助工作車、救急車、消火栓、救急器材等



水槽付消防ポンプ自動車の購入
（鹿追町）

（町の担当者の声）

最新性能の消防車両が導入されたことで、消防活動等における災害対応力の向上が図られました。

医療施設の整備

医療機器、夜間急病センター、電動ベッド等



町立病院に透析用監視装置の購入
（厚岸町）

（臨床工学技士の声）

透析治療における安全性が向上しました。今後も町民に対し、質の高い医療サービスの提供を図っていきます。

交通施設の整備

市町村道、歩道、ガードレール、街路灯、道路維持作業車等



吹きだまり等の対策として防雪柵を設置
（千歳市）

（市の担当者の声）

降雪期の視界不良や吹きだまりが軽減され、良好な交通環境を形成することができました。

「絆」

標津町は、

北海道の最東端、根室管内の中心部に位置し、人口5,277人（平成30年11月末現在）、面積は624.69km²の町です。

本町を中心にちょうど両腕を出すように、左手に17年7月に世界遺産となった知床半島が、右手には納沙布岬を先端とする根室半島が延びています。

正面はオホーツク海に面し、洋上わずか24km先には近くて遠い島「国後島」が、その大きな姿を見せています。



水・キラリの曳山巡行



標津町より国後島を望む

まちの産業や地域住民の生活を支えている「水」をテーマとした町民まつり「水・キラリ」（8月第1週の土日開催）や、朝獲り秋サケ販売やイクラ丼1,000食の無料配布、サケつかみ取りレースなど、味覚や賑わいのイベントが盛り沢山の「しべつあきあじまつり」（9月最終日曜日）など、多くのイベントが開催されています。

町名の由来は、アイヌ語で「シベ・ツ」（鮭のいるところ）を語源とし、江戸嘉永年間「鮭場所」として拓かれて以来、鮭を中心として発展してきました。

水産業と酪農業を基幹産業として、根室海峡の恵みと知床連山の裾野に広がる大地を生かした「生産の町」として発展し、現在も、環境と調和した安全食糧供給基地として、産地責任を果たす施策を積極的に展開しています。



幼保連携型認定こども園

本町では、子育て支援、移住定住対策、産業振興など、人口減少対策事業をひとまとめにした「人口減少時代に挑戦する政策パッケージ」を平成26年度から実践しております。

特に、子育てに関しては、あんしん出産の支援やこども園使用料の負担軽減のほか、教材費や通学費の助成、高校生までの医療費無料化など、教育関連事業の充実と合わせた包括的な支援策により、「北海道No.1の子育て応援のまち」として重点的に推進し、より良い定住地域の実現を目指しております。



元治元年（1864年）に描かれた屏風

標津町

〒086-1632
標津郡標津町北2条西1丁目1番3号
電話 0153-82-2131
FAX 0153-82-3011
<https://www.shibetsutown.jp/>



知床連山



標津町長 金澤 瑛

標津分屯地との関わり

根室海峡の平和維持と災害発生時の支援はもとより、町民まつりや神社例大祭、冬季イベントの雪像づくりといった地域行事へ積極的に参加いただくなど、当地域の経済、社会活動に欠くことのできない大きな存在であります。

標津分屯地

標津分屯地は、

根室海峡を挟んで国後島に面する標津町市街地近郊に位置する陸上自衛隊最東端、北海道で最小の分屯地です。当分屯地は、昭和32年、当時の標津村へ第302沿岸監視隊が移駐し、釧路駐屯地の分屯地として開設されました。その後、幾つかの改編を経て、現在は第302沿岸監視隊を基幹とし、第302基地通信中隊標津派遣隊及び釧路駐屯地業務隊標津管理班が所在しています。

分屯地所在部隊は昼夜を問わず活動しており、沿岸監視隊は、根室海峡の監視活動を行い、標津派遣隊及び標津管理班は、分屯地の業務基盤を維持しています。

当分屯地は、地域の一員として防災訓練などの各種活動にも積極的に参加しており、今後も、地域の皆様に信頼される分屯地を目指し、引き続き地域との連携を重視しつつ日々の活動に取り組んでまいります。



標津町小中学校避難訓練支援

平成30年度に採用された職員の声



北海道防衛局 企画部 周辺環境整備課 防衛事務官 三浦 彩夏

昨年4月に入省し、あと数か月で1年が経過しようとしています。時の流れの早さに驚いています。

私は、周辺環境整備課で防衛施設が所在する地方自治体への補助金等の交付業務に携わっています。漁業施設や消防施設など多様な分野の補助金等交付業務に携わる中で、まだまだわからないことが多く、勉強の毎日ですが、上司や先輩方の助けを借りながら日々の業務に取り組んでいます。

2年目は1年目で学んだことを活かしなが、これまで以上に知識の習得に励み少しでも早く一人前になれるよう、日々の業務に邁進していきたいと思っています。



北海道防衛局 調達部 建築課 防衛技官 青山 裕美

昨年の4月に初めて北海道へ来ました。札幌はまだ寒く、本州では春が来て桜が咲いていたのに、冬へ戻った気分でした。今まで積雪のない地域に住んでいたので、雪を見るとうれしくなりますが、それもこの1年くらいなのでしょう。

毎日が驚きの連続です。仕事では私の辞書にはない単語が飛び交い、日々脳が活性化されています。また、仕事に多くの法令や規則が関わり、知らなかったでは済まされないと感じます。自分で調べ、上司や先輩に質問し、少しずつ自分の知識を増やしていきます。

北海道の生活をしみつつ、防衛省の一員として成長していきたいと思っています。



北海道防衛局 企画部 周辺環境整備課 防衛事務官 齊藤 華

昨年4月に入省し、周辺環境整備課に配属されてからもうすぐ1年となります。

現在、私は防衛施設周辺の自治体へ補助金を交付する業務に携わっています。補助金の交付は工事や物品の購入に対して行われますが、事業内容の審査にあたっては専門分野の知識が要求されることも多くあります。どの知識も学生時代には触れたことのないものばかりで、周囲の方々の助けを借りながらも勉強の日々を過ごしています。

まだまだ慣れないことばかりですが、今年1年で経験したことを糧としながら、来年はさらに多くのことを吸収して仕事に活かしていきたいと思っています。



北海道防衛局 調達部 建築課 防衛技官 石邑 幸子

4月に入省してからあっという間に1年が経とうとしています。私は神奈川県出身で、北海道での新しい日々を新鮮な気持ちで過ごしています。

現在は、主に監督官業務に携わっています。防衛施設の着工から完成まで、実際に現場に行き、知識でしか知らなかった工法を間近で見られることを有意義に感じています。

前職とは全く違う業務、環境に戸惑いはありますが、上司や先輩に助けられながら取り組んでいます。多様な業務、人との関わり、研修の機会をいただき、充実した環境で働いています。今後も多くを学び、業務に活かしていけるように努力していきたいと思っています。



北海道防衛局 調達部 調達計画課 防衛技官 宮川 洋造

私は、昨年の4月に北海道防衛局調達部調達計画課に配属になりました。当初は慣れない業務をこなしていくことに不安もありましたが、北海道局の職員の方々の温かいサポートもあり、今では日々集中して業務に取り組むことができます。

配属先の調達計画課では、主に北海道防衛局発注の工事・業務の入札公告用資料のチェック等の業務を行っています。まだまだ分からないことも多く、上司の方や周囲の方の助けを借りながら業務をこなしています。

今後、入省2年目を迎えるにあたって、これまで学んできたことを活かし、一人前の防衛技官になれるよう努力しようと思っています。



北海道防衛局 調達部 土木課
防衛技官 豊巻 淳

昨年の4月に入省してから、あと2か月もしないうちに1年が過ぎてしまう頃となりました。現在は、土木課に所属し、主な業務として建設工事の工事監督（土木分野）を行っています。今までに触れたことのない自衛隊施設での業務ということで、工事1件1件に興味を抱きながら、業務に取り組んでいます。

私自身、高校が普通科で専門学校時代に土木に軽く触れた程度なので分からない事が多く、日々、先輩や上司に助けてもらっています。今後、1年目に学んだことを大いに発揮し、2年目、それ以降もどんどん成長していきたいと思っています。



帯広防衛支局 施設課
防衛事務官 荒瀬 智也

昨年4月に入省し、あっという間に1年が過ぎようとしています。帯広という初めての地での一人暮らしにもようやく慣れ始めてきたところです。

私は、帯広防衛支局施設課に所属しており、自衛隊施設等の土地や建物を地方自治体や民間から賃借するための契約事務等を担当しています。始めは聞き慣れない言葉が飛び交い不安なことだらけで、上司や先輩方に助けられてばかりでしたが、来年度は1年目で学んだことを活かし、少しでも早く一人前になれるよう努めています。

また、免許も取得できたので愛車で道東エリアを走破し公私共に充実したいと思っています。



帯広防衛支局 建設課
防衛技官 菊池 悠介

昨年4月から帯広防衛支局建設課建築係に配属になり、初めての帯広での生活をスタートしました。

今は主に現場から提出された施工図等の工事関係書類の確認を行っています。配属されたばかりの頃は何をすることも知識不足を実感しましたが、分からないことがあればすぐに質問することができる上司と先輩の丁寧な指導により、少しずつ業務を行えるようになりました。

これからも建築の知識を吸収し、学んだことを活かしながらより多くの業務に取り組めるような一人前の防衛技官を目指し、努力していきたいと思っています。



北海道防衛局 調達部 設備課
防衛技官 三田 匡洋

4月に入省してからもう少しで1年になるうとしています。

入省いきなり北海道に赴任と慌ただしく、落ち着いたと思えば冬の寒さに折れそうになりながら日々通勤しています。

初めは仕事が全くわからず、何をすればいいのか、どうすればいいのかと、先輩や上司に何度も仕事の内容を聞きながら学んできました。今では設備課電気係として工事の施工管理や施工の確認・承諾、関係機関との打合せなどの様々な仕事に同行させていただいています。

まだまだ足りない所は多々ありますが、今後さらに仕事を任せられるように精進していきたいと思っています。



帯広防衛支局 建設課
防衛技官 前田 真登

私は昨年4月に防衛省へ入省し、帯広防衛支局建設課土木係に配属になりました。

高校では農業土木を学び、技官として防衛省に入りましたが最初は何もわからず、覚えることも多く大変でした。

先輩や上司からアドバイスをいただき、また実際に現場に行き、現場を見ることでわからないことが少しずつ理解できるようになりました。今は工事の監督などを主な業務としており、できないこともまだまだ多いですが、日々自分の成長を感じることが出来ます。

今後は積極的に多くのことに取り組み、少しでも早く一人前になれるように努力していきたいと思っています。



新たな「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」

平成30年12月18日、国家安全保障会議及び閣議において、「平成31年度以降に係る防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画（平成31～35年度）」が決定されました。

我が国を取り巻く安全保障環境は、前大綱（平成25年）の策定時に想定していたよりも、格段に速いスピードで厳しさと不確実性を増しています。特に、国家間のパワーバランスの変化の加速化・複雑化、グレーゾーンの事態の長期化、そして、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域の利用が急速に拡大したことで、これまでの国家の安全保障の在り方は根本から変わろうとしています。

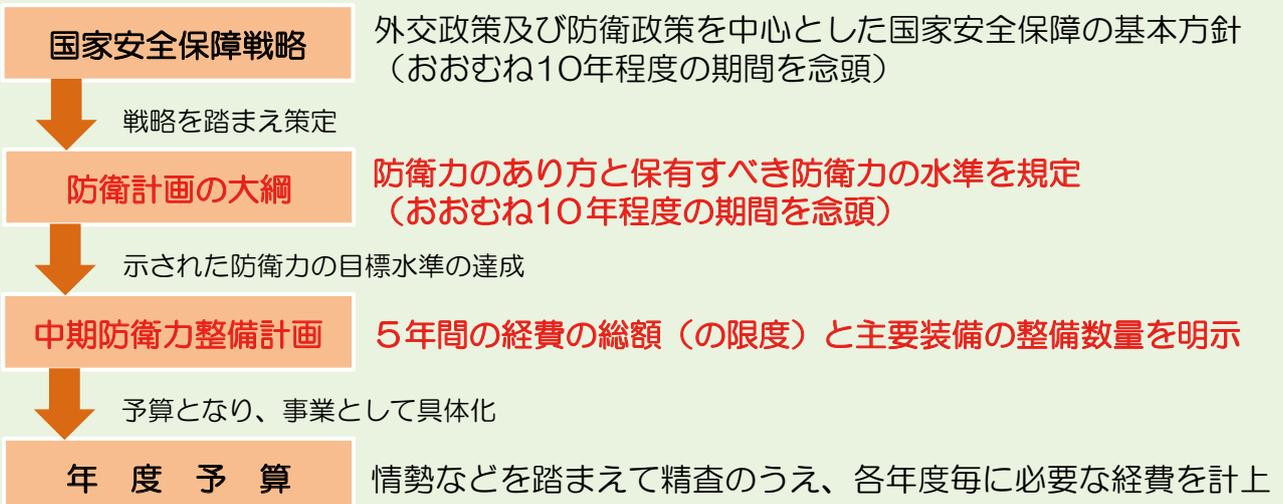
こうした中でも、我が国に対する脅威が現実化し、国民の命と平和な暮らしを脅かすことを防ぐためには、安全保障の現実に正面から向き合い、従来の延長線上ではない真に実効的な防衛力を構築する必要があります。

以上の状況の下、平成25年に決定した国家安全保障戦略を踏まえ、今般、宇宙・サイバー・電磁波を含む全ての領域における能力を有機的に融合し、平時から有事までのあらゆる段階における柔軟かつ戦略的な活動の常時継続的な実施を可能とする、真に実効的な防衛力として、多次元統合防衛力を構築していくことなどを定めた、新たな防衛大綱が策定されました。

新たな防衛計画の大綱等の内容は、防衛省ホームページに掲載しています。
防衛省ホームページ <http://www.mod.go.jp/>



戦略、防衛大綱・中期防及び年度予算の関係



高木北海道防衛局長から山口千歳市長（右手前）への説明

道内の自治体への説明

北海道防衛局では、「平成31年度以降に係る防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画（平成31～平成35年度）」の決定後、北海道の全ての自治体（北海道及び179市町村）に資料を送付し、説明するなど、今後の防衛力の在り方等に御理解をお願いしているところです。

第40回防衛問題セミナーのご案内

北海道防衛局では、わが国の防衛に関する諸施策などについて、多くの方々にご理解を深めていただくことを目的に、防衛問題セミナーを開催しています。
事前申し込みの必要はなく、**入場無料**でご参加いただけます。

お問い合わせ先



北海道防衛局 企画部
地方調整課 地方協力確保室
札幌市中央区大通西12丁目
札幌第3合同庁舎
TEL 011-272-7571
詳細が決定次第、北海道防衛局
ホームページに掲載します。



開催日：平成31年3月12日（火）

開場18:00 開演18:30

会場：札幌市教育文化会館 小ホール（札幌市中央区北1条西13丁目）

テーマ：平成30年北海道胆振東部地震と自衛隊の活動

講師：気象庁 札幌管区気象台長 山里 平

陸上自衛隊北部方面総監 陸将 田浦 正人

※テーマ・講師は変更になる場合があります。

出典：北部方面隊ホームページ

<http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/top/h30hq/2kyujo.html>

防衛省職員採用のご案内

北海道防衛局職員（事務職、技術職）は、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験の最終合格者から採用しています。

2019年度国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

【インターネット申込受付期間】

4月5日（金）～4月17日（水）[受信有効]

○ 詳しくは、防衛省及び人事院ホームページをご確認下さい。

【試験の日程】

第1次試験日	6月16日（日）
第1次試験合格者発表日	7月10日（水）
第2次試験日（人物）	7月17日（水）～8月2日（金）
最終合格発表日	8月20日（火）

防衛省ホームページ
「採用情報」



人事院ホームページ
「国家公務員試験採用情報 NAVI」



国家公務員 障害者選考試験

人事院において、国家公務員障害者選考試験が以下の日程で実施されています。

第1次選考日	平成31年 2月 3日（日）
第1次選考通過者発表日	平成31年 2月22日（金）
第2次選考日	平成31年 2月27日（水）～ 3月13日（水）
合格発表日	平成31年 3月22日（金）

第2次選考は、各府省の採用予定機関において採用面接を実施することとなっており、北海道防衛局においても、国家公務員障害者選考試験の第1次選考通過者を対象とした第2次選考（採用面接）を実施します。職務内容等については、次のとおりです。

職務内容

係員として、採用後は総務課において主に次の業務に従事します。

- 各種データ入力作業や統計データの集計
- 資料の作成や整理などの事務作業
- 文書の受付や郵便物の仕分け
- 電話の取り次ぎ など

勤務地

北海道防衛局総務部
総務課

札幌市中央区大通西12丁目
札幌第3合同庁舎3階

庁舎の設備状況

- エレベーター : 有
- 出入口段差 : 無
- 階段手すり : 有
- 車椅子用トイレ : 有（庁舎1階）
- 点字表示 : 無

採用面接について

複数の面接官による個人面接を行います。

- 採用面接日時
平成31年2月27日（水）～
3月13日（水）のいずれかの日
- 採用面接会場
北海道防衛局4階会議室
- 採用面接予約方法
防衛省ホームページから専用申し込みフォームにより予約を受け付ける予定
- 採用面接予約受付期間
平成31年2月22日（金）10時～
2月26日（火）17時まで

業務に当たっての配慮措置については、双方で話し合いを行いながら、障害の状態や職場の状況に応じて決めていきます。